

# ユダヤ人虐殺の歴史と現代の人権結び教育を

欧州連合(EU)の人権機関である基本権機関(FRA)は26日、ナチスによるホロコースト(ユダヤ人大虐殺)など、過去の歴史事実と現在の人権問題とを明確に関連付けた教育を学校や記念館で実施すべきなどの研究結果を発表しました。

## EU基本権機関報告

国際ホロコースト記念館(27日)を前にして訴えたもの。報告書は、EU域内のホロコースト記念館の調査と、9カ国の教師・学生への聞き取りをもとにまとめられました。その結果、1カ所を国際ホロコースト記念館を解放したこと念日 1945年1月27日、当時のソ連軍がポーランドのアウシュビツ・ビルケナウ絶滅した。

除き記念館21施設がみずからの役割を単に歴史的事実を伝えるという狭い領域にとどめており、さらに、歴史的事実を現代の問題として理解させる橋渡し役として期待されているガイドや教師への人権分野での教育訓練が不十分なことが明らかに

(山田芳進)



27日、アウシュビツ収容所跡で行われた追悼式典で黙とうする人々(ロイター)

## ナチス戦犯を司法の場に

【ベルリン＝時事】イスラエルのペレス大統領はアウシュビツ収容所解放記念日の27日、ドイツ連邦議会(下院)で演説し、生存しているナチス戦犯を裁く

イスラエル大統領ドイツ議会で演説

よう呼び掛けました。同大統領は「ホロコースト(ユダヤ人大虐殺)を生きた延びた人が徐々に減っている一方で、虐殺にかかわった者たちがドイツや欧州、世界のその他の地域で暮らしている」と指摘。

「あらゆる手段を講じ、彼らを司法の場に連れ出してほしい」と訴え、「これは報復ではなく、教訓を残すためだ」と強調しました。また、祖父が現在のベラルーシにあるシナゴグ

(ユダヤ教礼拝所)に他の住民と共に閉じ込められ、火を放たれ殺害されたことに触れ、「どうして自分たちが優れた民族で、ほかは劣っている」とみなすことができるのか」と疑問を投げ掛けました。

ポーランド【ベルリン＝時事】ナチス・ドイツによるホロコースト(ユダヤ人大虐殺)の舞台となったポーランド南部のアウシュビツ強制収容所が解放されてから65年となる27日、収容所跡地で追悼式典が開かれ、犠牲者の冥福を祈るとともに、悲劇を繰り返さないためと訴えました。また、イスラエルのネタニヤフ首相は「ナチスがわれわれに行

## アウシュビツ解放65年 ホロコースト犠牲者を追悼

ったことを決して忘れない」と力を込めました。生存している元収容者は年々減っており、今年の参加者は約150人ととどまりました。昨年12月に盗まれた「働けば自由になる」との標語が書かれた金属板は21日、収容所跡地を管理する国立博物館に返還されました。解放記念日までに入場門に戻す予定でしたが、警備体制に不安が残るため、複製が掲げられたままとなっています。収容所は1940年に設置され、45年1月27日にソ連軍によって解放されるまでの間に、ユダヤ人をはじめ110万人が殺害されました。